

## 『資本論』第1巻第23章第4節

### 「相対的過剰人口の種々の存在形態 資本主義的蓄積の一般的法則」\*

江原 慶

2014年6月26日

#### S.670-673 相対的過剰人口の種々の存在形態

##### *flüssige* ■流動的形態

景気循環で生じる諸形態を「*flüssige*」  
「*relativ überflüssig*」...の意味は?

- 工場・マニファクチュア・精錬所・鉱山などの近代産業の中心
  - 吸収と反発の両面を伴う
  - 生産規模に対する割合では減少しながら、絶対数は増加
  - 「労働者数の自然増加が資本の蓄積欲求を満足させないで、しかも同時にそれを超過する」(S.670)
    - より多くの年少労働者が必要とされ、成年男子労働者が排出される
    - 分業によって労働者が特定部門に固着し、部門間で労働需給のアンバランスが生じる
    - 労働者の消耗が激しく、老朽して雇用されえなくなる
- この階級固有の「法則」として「労働者世代の急速な交替」(S.671)  
(← 早婚・子供の就業)

##### *latente* ■潜在的形態

- 資本主義的農業
- 労働需要は絶対的に減少し、労働力が排出される
  - 都市またはマニファクチュアに移行しようとしている
- 「この過剰人口の大きさは、ただ排水溝が特別に広く開かれるときだけ目に見えるようになる」(S.672)
- 賃金は最低限度

##### *stockende* ■停滞的形態

工場に閉じこもる  
労働者

\* 2013年度小幡ゼミ

- 主として家内労働における不規則な就業
- 資本家が自由に利用できる労働力の「貯水池」であり、「固有な搾取部門の広大な基礎」(S.672)
- 労働時間は最大限、賃金は最小限
- 大工業・大農業の過剰人口や、マニファクチュアに破れた手工業・機械経営に破れたマニファクチュアから流入
- 労働者階級の増加分のうち比較的大きな割合を占める
- 労賃の高さと家族の大きさが反比例するという「資本主義社会の法則」(S.672)

### ■受救貧民

ルンペンプロレタリアートを別にすると、以下の3つの部類から成る

1. 労働能力のあるもの  
恐慌のたびに膨張し、景気回復すると減少する
2. 孤児・貧児  
「産業予備軍の候補」(S.673)
3. 墮落したもの・零落したもの・労働能力のないもの  
分業のため転業ができなくなった人々、老齢化した人々や産業犠牲者

「受救貧民は現役労働者軍の廃兵院、産業予備軍の死重をなす」のであり、「相対的過剰人口の必然性」であって「資本主義的生産の空費」(S.673)

→ この「空費」の大部分は労働者に転嫁される

## S.673-675 資本主義的蓄積の一般的法則

### ■資本主義的蓄積の絶対的一般的法則

- 社会的富の増加の大きさとそのエネルギーが大きくなるほど、産業予備軍が大きくなる
- 産業予備軍が現役労働者軍に比して大きくなるほど、その窮乏が労働苦に正比例する固定的過剰人口が増大する
- 労働者階級の極貧層と産業予備軍が大きくなるほど、受救貧民が増大する

### ■労働者の数を価値増殖に適合させるという浅はかさ

資本主義的生産と蓄積の機構の方が、労働者の数を価値増殖欲望に適合させる

→ 相対的過剰人口の創出 → 現役労働者の貧困と受救貧民の死重

■たえず増大する生産手段量が、累進的に減少する人間力の支出で動かされうる「法則」

この「法則」は、資本主義の下では、

- 労働の生産性が向上すると、労働者が就業手段に加える圧迫が大きくなり、その生存条件がますます不安定になる
- 労働者人口が資本の価値増殖欲望より常により急速に増大する

という形で表現される。

■蓄積・相対的剰余価値の生産・貧困

- 労働者の状態を悪化させる帰結を伴う、相対的剰余価値の生産の方法は、蓄積の方法になり、蓄積の拡大は相対的剰余価値の生産の方法を発展させる  
→ 労働者の状態は悪化せざるを得ない
- 相対的過剰人口をして、蓄積の大きさおよびエネルギーと均衡を保たせる「法則」は、資本蓄積に対応する貧困の蓄積を生む

### S.675-677 経済学者による蓄積の敵対的性格の言明

資本主義的蓄積の性格と前資本主義的生産様式の諸現象との混同

オルテス 一方の富は他方の貧困を必然的に伴うとして、資本主義的生産の敵対的關係を社会的富の一般的自然法則と理解

→ 「貧困を永遠化する運命の定めの中に、キリスト教的慈善や独身や聖堂の存在理由を見出した」(S.676)

タウンゼンド 貧困が勤勉と労働の動機になるとして、貧困を富の必然的条件として賛美

→ 救貧法批判

シュトルヒ 貧民が不快な仕事を担うことで、他の階級が余暇を持ちうる。民衆の貧困と墮落にもかかわらず、資本主義文明は安全を提供する点で野蛮よりまさる。

シスモンディ 労働の生産性が向上し労働生産物が増えるなら、非労働者による奢侈と享樂がそれに伴う必要がある

デステュット・ドゥ・トラシ 「貧国とは、人民が安楽に暮らしている国であり、富国とは人民が一般に貧しい国である」(S.677)

## 論点・疑問点

### ■「相対的過剰人口の種々の形態」について

これは「資本主義的蓄積の一般的法則」とはどのような関係にあるのか。

例えば、潜在的過剰人口は排出するのみなので、理論上行き着く先は「流動的形態」と「停滞的形態」のみということになるのか。

### ■停滞的形態 stockende Form について

なぜ「停滞的」と呼ぶのか。他の形態をとり得なくなった相対的過剰人口がプールされている、という意味で stocken なのか。

### ■「資本主義的蓄積の一般的法則」について

この「法則」をどのように評価するか。論証可能性、分析の用具としての位置。